

落札者決定基準

1 本書の位置付け

本書は、北九州市（以下「本市」という。）が、消防通信指令システム等更新整備事業（以下「本業務」という。）を実施する民間事業者（以下「事業者」という。）を客観的に評価・選定するための方法及び基準等を示すものであり、入札説明書と一体のものである。

2 落札者の決定方法

落札者の決定にあたっては、提案内容を公平かつ客観的に評価し、本業務にとって最適な事業者を選定するため、入札価格の評価である「価格点」に提案内容の評価である「技術点」を加算する総合評価方式を採用する。

各委員の採点結果を集計のうえ、最も得点が高い者を落札者とする。

(1) 入札価格の評価

入札価格については、後に示す計算式に基づき「価格点」を与える。ただし、入札参加者の入札価格が本市の予定価格を上回った場合は、落札候補者とししない。

(2) 提案内容の評価

「提案評価一覧表」に基づき提案内容を評価し「技術点」を与える。ただし、「機能実現証明書」で実現不可項目がある（記載がない、本市の要求を満たしていない）場合は失格となり、落札候補者とししない。

なお、保守費用については、後に示す計算式に基づき評価する。

(3) 総合評価の方法及び落札者の決定方法

(1)及び(2)で評価した、「技術点」及び「価格点」の合計点数（以下「総合評価点」という）が最も高い者を落札者とする。「総合評価点」の最高点は1,300点とし、「技術点」の最高点は1,100点、「価格点」の最高点は200点とする。

(4) 総合評価の最も高い者が2者以上あるとき（同点のとき）の対応

総合評価点の最も高い者が2者以上あり、入札参加者それぞれの「技術点」、「価格点」が異なる場合は、「技術点」が高い者を落札者とする。なお、どちらも同点の場合は、当該入札参加者立会いのもと、くじを引かせ、落札者を決定する。この場合、当該者がくじを引かない場合は、当該入札事務に関係のない職員をして代わってくじを引かせることができる。

3 入札価格評価の方法

価格点は、次の算出式により算出する。

$$\text{価格点} = \text{価格点の配点} \times (\text{最低価格} \div \text{入札価格})$$

※小数点第3位を四捨五入し、小数点第2位まで求める。

4 技術評価の方法

(1) 配分の考え方

次のとおり大分類を設定する。

各大分類に配分する得点は、下表のように設定する。

項	大分類	配点
1	業務理解に係る要件	40
2	構築業者に係る要件	80
3	システム移行に係る要件	60
4	非機能に係る要件	230
5	機能に係る要件	560
6	運用・保守に係る要件	120
7	自由提案	10
	合計	1,100

(2) 評価の方法（保守費用を除く。）

「提案内容評価表」の各小分類について、次に示す方法により5段階の評価を行う。

判断基準		評価	得点 付与方法
○十分な理解、認識に基づいた提案の適格性など ○提案内容の有効性、合理性、具体性など	特に優れている	A	配点×1.00
	AとCの間	B	配点×0.80
	優れている	C	配点×0.60
	要求水準を満たす程度	D	配点×0.30
	要求水準を満たしていない	E	配点×0.00

(3) 保守費用の評価の方法

保守費用は、次の算出式により算出する。

$$\text{評価} = \text{保守費用の配点} \times (\text{最低見積価格} \div \text{見積価格})$$

※小数点第3位を四捨五入し、小数点第2位まで求める。